

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	プロジェクト3 (Project 3)	授業コード	L120301
担当教員名	杉浦 嘉雄、池畑 義人、吉村 充功、高見 大介	科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	通年
必修・選択区分	建築コース 選択 インテリアデザインコース 選択 環境・地域創生コース 選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	集中講義なので、開講日時に気をつけてください。 フィールドワークは週末に行います。また、夏期休業期に2泊3日のフィールドワークを実施予定ですので、参加できることを確認して履修して下さい。また、フィールドワーク時の食費は実費負担です。		
受講心得	フィールドワークでは団体行動が基本です。教員・現地指導員の指示に必ず従ってください。地域の皆さんは、この実習にあたって大変な負担を負っています。皆さんのために、いろいろして下さる地域の皆さんに感謝しながら受講してください。		
教科書			
参考文献及び指定図書			
関連科目	プロジェクト1、プロジェクト実習、プロジェクト2、地域再生論、環境・地域創造演習、その他専門教育科目		

授業の目的	地方の今後のあり方を考えた場合、地域の独自性や特徴を活かした地域づくり・まちづくり、地域にあった建築物の設計・施工、歴史遺産や環境の保全・再生が重要となります。本プロジェクトでは、大分県豊後大野市を対象に、地域の建築物の保全、維持に向けたプロジェクト活動を実施します。本プロジェクトにおいて、これまでの専門教育科目で習得した知識と技能を活用して、地域が抱える課題を実践的に解決することを目的とします。
授業の概要	地域志向を高める学修サイクルの集大成として、「ステークホルダーとの協働による課題解決型学修」を行います。豊後大野市と連携して、豊後大野市が抱える建築物にかかる課題解決をプロジェクト活動として実施します。活動においては、市役所の担当課や建築関係の企業、団体と連携して行う場合があります。フィールドワークはチームで活動を行い、チームで課題解決を実践的に行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ガイダンス 授業内容・スケジュールの説明、受講条件などについて説明します。	
第2週：事前研修(1) 合宿研修に先立って、チーム編成を行うとともに、個人の目標設定も行います。プロジェクトテーマの発表を行うとともに、事前レポートを課します。	対象テーマについて、各種データ・情報を入手し、追加の知識を獲得して下さい。
第3週：事前研修(2) 合宿研修に先立って、事前レポートを元に、知識の整理を行い、研修での工程計画の立案を行います。	
第4週：宿1日目(1) 現地研修 フィールド調査に先立って、現地にて調査方法やポイント等について説明します。	
第5週：合宿1日目(2) フィールド調査①	

現地にてチームごとに、フィールド調査を行い、データ収集・計測等を行います。	
第6週：合宿1日目(3) フィールド調査② 引き続き、現地にてチームごとに、フィールド調査を行い、データ収集・計測等を行います。	
第7週：合宿1日目(4) データ整理①(情報分析力) 収集した調査結果を持ち帰り、図面、エクセルなどデータを適切な方法により落とし込み、情報の可視化、分析を行います。	
第8週：合宿1日目(5) データ整理②(情報分析力) 引き続き、図面、エクセルなどデータを適切な方法により落とし込み、情報の可視化、分析を行います。	必要な追加データ・情報を入力し、知識の補完を行って下さい。
第9週：合宿2日目(1) フィールド調査③ 前日に引き続き、現地にてチームごとに、フィールド調査を行い、データ収集・計測等を行います。	
第10週：合宿2日目(2) フィールド調査④ 引き続き、現地にてチームごとに、フィールド調査を行い、データ収集・計測等を行います。	
第11週：合宿2日目(3) フィールド調査⑤ 引き続き、現地にてチームごとに、フィールド調査を行い、データ収集・計測等を行います。	
第12週：合宿2日目(4) データ整理③(情報分析力) 収集した調査結果を持ち帰り、図面、エクセルなどデータを適切な方法により落とし込み、情報の可視化、分析を行います。	
第13週：合宿2日目(5) データ分析・計画立案 これまで整理したデータをもとに、対象建築物の修復箇所の検討等を行います。	必要な追加データ・情報を入力し、知識の補完を行って下さい。
第14週：合宿3日目(1) 現地確認① 前日に作成した計画をもとに、課題解決策の現地での実行可能性を再検討します。	
第15週：合宿3日目(2) 現地確認② 引き続き、課題解決策の現地での実行可能性を再検討します。	
第16週：合宿3日目(3) プレゼンテーション・ワークショップ 3日間の取り組みをプレゼンテーションするとともに、関係者との意見交換を行います。	
第17週：合宿3日目(4) 事後研修と総括 研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、本授業で得たことの整理や反省を行い、本授業をまとめます。事後レポートを課します。	事後レポート
第18週：事後研修及び日帰り研修の事前研修(1) 合宿研修の成果をもとに、次回の研修に向けた改善点をまとめます。また、次回の研修での課題解決策の実践に向けた計画の整理を行います。	
第19週：日帰り研修の事前研修(2) 前日に引き続き、次回の研修での課題解決策の実践に向けた準備を行います。	
第20週：日帰り研修(1) 課題解決策の実践①	

現地において、課題解決の実践を行います。必要に応じて、企業関係者からの指導を受けます。		
第21週：日帰り研修(2) 課題解決策の実践②		
引き続き、現地において、課題解決の実践を行います。必要に応じて、企業関係者からの指導を受けます。		
第22週：日帰り研修(3) 課題解決策の実践③		
引き続き、現地において、課題解決の実践を行います。必要に応じて、企業関係者からの指導を受けます。		
第23週：日帰り研修(4) 課題解決策の実践④		
引き続き、現地において、課題解決の実践を行います。必要に応じて、企業関係者からの指導を受けます。		
第24週：日帰り研修の事後研修		日帰り研修の反省と課題を明確にしてくる。
日帰り研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、レポートを課し、振り返りを行います。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考	食費は実費負担です。宿泊等に必要なものについては、別途指示します。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①地域の問題に積極的に関わることができる
【知識・理解】	②地域における建築物の実状について実体験を通じて理解できる ③地域における建築物の現状を把握するための方法を習得できる
【技能・表現・コミュニケーション】	④プロジェクト活動を通じて、チームでの活動及び自分の役割を果たすことができる
【思考・判断・創造】	⑤地域における建築物の課題を解決するための方法を考えることができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点	10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	成果物（ふり返し資料）、レポートにより、到達目標を達成できているかを評価します。なお、成績評価の基準（ルーブリック）は当日配布します。
発表・その他 （無形成果）	チーム活動での行動、プレゼンテーションにより、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができているか、自分の意見を積極的に述べているかを評価します。なお、成績評価の基準（ルーブリック）は当日配布します。